

コロナ禍の長期化、厳しい状況続く

新たな変異株拡大で景気冷え込み、回復の兆し見えず

～景況 DI 値は、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス21.0～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 7月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比15.8ポイント上昇のプラス10.5、前年同月比同水準のプラスマイナス0。非製造業では、前月比15.7ポイント上昇のプラス10.5、前年同月比10.5ポイント低下のプラス15.8。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比同水準のプラス15.8、前年同月比同水準のプラス21.0。非製造業では、DI 値前月比10.5ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比同水準のマイナス5.3。

収益状況 製造業では、DI 値前月比15.7ポイント上昇のマイナス15.8、前年同月10.5ポイント低下のマイナス21.0。非製造業では、前月比同水準のマイナス21.0、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス10.5。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント低下のマイナス5.3、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス21.1。非製造業では、前月比15.8ポイント上昇のマイナス10.5、前年同月比10.5ポイント上昇のマイナス26.3。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス5.2。非製造業では、前月比5.3ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス15.8。

景況 製造業では、DI 値前月比5.2ポイント上昇のマイナス10.6、前年同月比10.6ポイント低下のマイナス15.8。非製造業では、前月比5.3ポイント低下のマイナス36.8、前年同月比同水準のマイナス26.3。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比0.1ポイント低下のマイナス23.7、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス21.0となった。製造業の一般食料品、木材・木製品の業種ではコロナ禍の影響に加え、原材料価格が値上がりしており、また金属製品関連では、鋼材が値上がりし需給がひっ迫する状況となっている。非製造業では、小売業・商店街では、コロナ禍に振り回される現状で、旅館・観光関連では、各種割引キャンペーンの停止、度重なる緊急事態宣言とまん延防止等重点措置の影響で極めて厳しい。県内景況は、コロナ禍の長期化により厳しい状況が続いており、加えて新たな変異株が拡大傾向にあり景気も冷え込み、回復の兆しが見えない。

2. 企業倒産 (株帝国データバンク調べ)

7月の全国倒産は、件数490件で、前年同月からの反動減もあり、7月としては過去最少。負債総額も734億400万円（負債総額1,000万円以上）で、7月としては過去最少となった。不況型倒産の合計は387件、負債規模別では、負債5,000万円未満の倒産は305件となった。

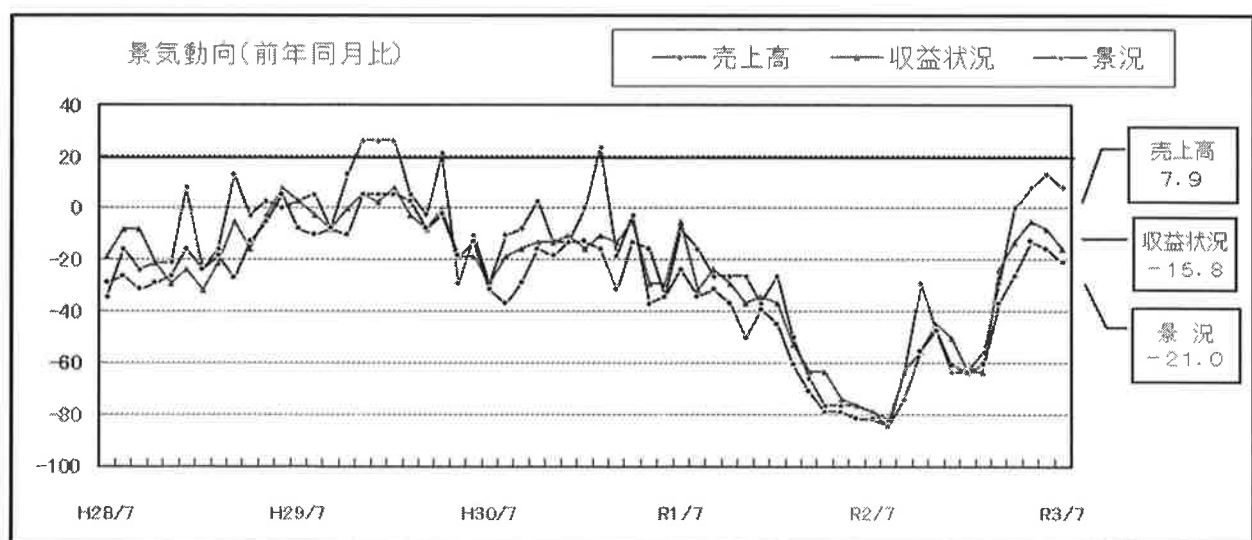
一方、7月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数0件（前月1件）、負債総額は0円（前月9,900万円）で、負債額1,000万以上の法的手続きによる倒産が発生しなかったのは、2021年2月以来5カ月ぶりとなった。

3. 労働情勢 (鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報6月分」)

鳥取県の6月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.44倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.13倍）で、前月より0.05ポイント上昇した。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.24倍、米子所1.36倍、倉吉所1.41倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.64倍（季節調整値）で、前月より0.28ポイント低下した。

新規求人数は、前年同月比11.8%増加し、有効求人数は17.6%の増加となった。産業別に前年同月と比較すると、製造業（30.4%）、サービス業（25.6%）、運輸業・郵便業（21.9%）、建設業（20.0%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比6.8%減少し、有効求職者数は1.2%増加した。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.16倍で、前年同月を0.08ポイント上回った。新規求人数は前年同月を7.4%上回った。



7月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	26.3%	15.8%	10.5 15.8	42.1%	31.6%	10.5 15.7	34.2%	23.7%	10.5 15.8
(2) 在庫数量	10.5%	0.0%	10.5 -5.3	8.3%	16.7%	-8.4 -25.1	9.7%	6.5%	3.2 -12.9
(3) 販売価格	15.8%	0.0%	15.8 0.0	10.5%	10.5%	0.0 10.5	13.2%	5.3%	7.9 5.3
(4) 取引条件	0.0%	0.0%	0.0 -5.3	0.0%	10.5%	-10.5 0.0	0.0%	5.3%	-5.3 -2.6
(5) 収益状況	10.5%	26.3%	-15.8 15.7	15.8%	36.8%	-21.0 0.0	13.2%	31.6%	-18.4 7.9
(6) 資金繰り	0.0%	5.3%	-5.3 -5.3	5.3%	15.8%	-10.5 15.8	2.6%	10.5%	-7.9 5.2
(7) 設備操業度	15.8%	10.5%	5.3 10.6						
(8) 雇用人員	5.3%	5.3%	0.0 5.3	5.3%	5.3%	0.0 5.3	5.3%	5.3%	0.0 5.3
(9) 景 況	10.5%	21.1%	-10.6 5.2	5.3%	42.1%	-36.8 -5.3	7.9%	31.6%	-23.7 -0.1

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	26.3%	26.3%	0.0 0.0	42.1%	26.3%	15.8 -10.5	34.2%	26.3%	7.9 -5.3
(2) 在庫数量	15.8%	10.5%	5.3 -5.2	8.3%	25.0%	-16.7 -16.7	12.9%	16.1%	-3.2 -9.6
(3) 販売価格	26.3%	5.3%	21.0 0.0	15.8%	21.1%	-5.3 0.0	21.1%	13.2%	7.9 0.0
(4) 取引条件	10.5%	0.0%	10.5 0.0	5.3%	10.5%	-5.2 5.3	7.9%	5.3%	2.6 2.6
(5) 収益状況	21.1%	42.1%	-21.0 -10.5	15.8%	26.3%	-10.5 -5.3	18.4%	34.2%	-15.8 -7.9
(6) 資金繰り	0.0%	21.1%	-21.1 -5.3	10.5%	36.8%	-26.3 10.5	5.3%	28.9%	-23.6 2.7
(7) 設備操業度	10.5%	21.1%	-10.6 -0.1						
(8) 雇用人員	5.3%	10.5%	-5.2 5.3	0.0%	15.8%	-15.8 -5.3	2.6%	13.2%	-10.6 0.0
(9) 景 況	15.8%	31.6%	-15.8 -10.6	15.8%	42.1%	-26.3 0.0	15.8%	36.8%	-21.0 -5.2

* D I とは、ディフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

* D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D Iを差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 観光土産品関連業者は、従業員の一部休業が続いており業況は厳しい。スーパーマーケット等小売向けや通信販売を行う業者は好調を維持している。小豆や油脂類等原材料の値上げ分を販売価格に転嫁できないため収益に陰りが見える。

醬 油⇒ コロナ変異株の拡大により、全国的に感染者数が増えてきている。お盆の需要も期待薄で苦しい経営環境は当面続く事が予想される。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 婦人服では、フル稼働で製造を始めているが、コロナ禍前と比べると、現状は先の予定が見えない。座席シート縫製では、自動車用半導体不足により、国内では自動車の製造自体が減産となっているため売上高は減少傾向。

ニット製品⇒ コロナ禍が終息しても、衣料品消費の回復が見込めない。国内縫製業は受注不足分を雇用調整助成金で繋いでいるが、今後は雇用の見直しも検討する事もありうる。

【家具装備品】

⇒ 売上高は、前月比、前年同月比ともに不変。リビング関連の高級品も一服感が見られる。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の生産量はともに前月比で増加。合板の生産量も前月比で増加。住宅着工は底堅く需要は旺盛だが製材品の供給は依然追い付いていない。ウッドショックの影響による木材仕入価格の高騰及び資材不足がいつまで続くのか、先行き不透明。プレカット加工の稼働率は、前月比25%増加、前年同月比15%増加。

【紙・加工品】

和 紙⇒ コロナ禍による売上減少が1年以上続いている状態であり、時短による生産調整によって対応している。

【印 刷】

⇒ 新型コロナ感染拡大により、イベントや行事の中止又は延期が相次ぎ印刷物が中止となる事案が発生している。盆休みを10連休にするなど雇用調整も進んでいる。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 6月の生コン出荷量は、前月比1%減少、前年同月比13%減少。全体的に低調。全県で道路関連工事はあるが数量的には少ない。民間設備投資はマンションや製造工場、社会福祉施設などの工事はあるが、数量を押し上げるほどにない。西部で防衛省関連・バイオマス発電などの

物件はあるが県全体を押し上げるほどにはならなかった。東部地区で工場の集約化を進めるも大型事業が少なく、需要が伸びないので厳しい。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、年内の仕事量を確保している事業所もあるが鋼材の値上がり、一部の品種（特にコラム）によっては、極端な品薄が続いている。機械加工は、全体的には自動機・工作機械関連を中心に、仕事はほぼ戻ってきているが、鋼材の値上がり、品薄が不安要素となっている。鋼材が、世界的な鉄不足により需給がひっ迫し、スピードも早いため、国内価格が大幅な値上がりが続いている。

鉄骨加工⇒ 鋼材価格は高止まりし、年末までは更に上昇する気配。HTB（高力ボルト）の手配難だけでなく、柱に使われるコラム材は市中在庫が枯渇する事態となっている。この影響は受注物件の製作延期につながり、建築物の工期に大きな影響が出る可能性がある。

金属熱処理⇒ 6月は比較的好調であったこともあり7月は若干低迷状態となった。受注減少が続く雇用調整助成金を申請した昨年と比較すれば受注は回復している。ただし、大口受注が続いていたエネルギー関係の発注が停止しているため、受注金額としては伸び悩んでいる。業界全体では景気回復の状態にあるが、山陰地方では十分な回復とは言えず、企業間の格差も依然として続いている。

【電気機械器具】

⇒ 試作案件が増加傾向にあるがコロナ禍前と比較するとまだまだ少ない。材料不足の傾向は続いている。リピート品受注は比較的安定しているが、材料調達の影響で変動している。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 検査キットなどコロナ対策用品は動いている。青果関係では、売上高は前月比、前年同月比ともに減少。コロナ禍の長期化が大きく影響している。鮮魚関係では、売上高は前月比、前年同月比ともに減少。今後、台風など自然災害発生も危惧され、順調な品揃えが出来るか不安な点は否めない。

中部地区⇒ 売上高は前月比、前年同月比ともに減少。市場はここ数カ月活発な動きも見られず、特に大きな変化は見られないがコロナ禍の影響が景気を湿らせている。

西部地区⇒ 一部で新型コロナ感染防止対策等から売上の回復は鈍い。デパートや飲食店を取引先とする一部事業所も同様な状況。また一部では輸入木材価格の高騰によるウッドショックの影響が見受けられる。

水産物⇒ 巻き網の天然本マグロ漁は月半ばまで順調に推移したものの、量販店は輸入マグロ、カツオ等が豊富であったことから売り場の品替え早め、

盛り上がり欠ける状況で終了した。小型イワシを中心とする中型巻き網の漁獲も徐々に散発的となり完全な夏枯れ状況となった。期待された白いか漁は水揚げが回復せず昨年同様の数量にとどまった。

リサイクル原料⇒ 国内スクラップ市況は、「夏枯れ」もあり市中スクラップの発生、荷動きは鈍く品薄感が残る状況のため、電炉購入価格は高値圏を維持している。古紙は上値が重いながらも強含みの地合いを保っている。非鉄金属は、銅、アルミ、ステンレスともに高値のまま推移した。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取市の商店街では、コロナ禍に振り回される現状で、消費が戻ってこない。昨年は特別定額給付金などもあり、消費は一時的に活性化したが、今年はそれもなく反応がない。飲食関連も昼間は少しずつではあるが増えてきているが、夜の売上が壊滅的な状況。小売関連も消費マインドは上がりたらずただ耐えるだけの状況。天候不順なども複合的に悪い要件が重なっている。

中 部 地 区⇒ 倉吉市の商店街では、7月に予定していた倉吉銀座商店街組合員向け納涼会は、新型コロナ感染防止のルールにのっとり3密を避け無事に終えることができた。商店街の人出は相変わらず回復せず、今のところ打つ手なしの状態。

西 部 地 区⇒ 米子市の商店街では、西部地区で感染拡大しているコロナ変異株の影響により、7月に予定していた本通り商店街と元町サンロード内で開催される土曜市オープニングの戸板市及び土曜夜市を中止（又は延期）せざるを得なかった。第71回目となる夏の売出しセールは感染防止のルールにのっとり開催された。

境港市の水産物小売は、平日の売上は低調で、現在も仕入れと人件費を考慮して休業する店舗もある。西部地区で感染者増加が報告されたが、昨年のような大きな動揺は見られず、7月の連休中は若干客足が戻った。観光産業の復興にはまだかなりの時間がかかることが予想され、関西・山陽方面からの観光客が来場者の大きな割合を占める店舗では、度重なる緊急事態宣言とまん延防止等重点措置によって疲弊しきっている。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘ではコロナ禍の影響で、観光客は減少していたが、7月の連休中は大幅に増加した。売上高は前月比で増加、前年同月比では不変であった。

米子市のホテル・旅館では、新型コロナ感染拡大により前月は営業日が例年の3分の1程度であったが、当月は通常通りであったため、前月比で売上高は増加した。前年同月比では宿泊人数が微増となったことから売上高は増加した。業界では、各種キャンペーンが全て停止状態となった事や県内はじめ全国的な感染拡大の影響により予約状況は鈍化しており業況は極めて厳しい。

三朝温泉では、#WeLove 山陰キャンペーンの割引停止は厳しい。緊急

事態宣言とまん延防止等重点措置により集客が見込めない。

羽合温泉では、売上高は前月比、前年同月比ともに増加となった。

【自動車整備業】

⇒ 新車販売の前年同月比は普通乗用車が約2%増加、軽乗用車は約29%減少、普通貨物車は約34%増加、軽貨物車は約26%増加、全体では約7%減少。なお、対前月比は全体で約5%増加。継続検査を含む中古車の前年同月比の実績は、普通車が約32%増加、軽自動車が約2%減少であり、対前月比は普通車、軽自動車ともに10%の減少。自動車販売、自動車整備ともコロナ禍の影響を受け、歪な状況である。

【建設業】

⇒ 6月の県内公共工事発注(西日本建設業保証㈱保証取扱)は、請負金額107億円(前年同月比53%増)、件数182件(前年同月比5%増)となった。設備投資では単月、3カ月平均ともに3カ月連続の前年比プラス。住宅建設も持家系を中心に持ち直しつつある。防災・減災工事などの土木工事を中心とした公共工事が堅調であるものの、木材・鉄鋼など資材価格上昇による影響が続いている。

6月の鳥取県新設住宅着工戸数は346戸(持家215戸、貸家131戸)で、前月比65%増加、前年同月比23%増加となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 7月の物流は、製造業などの出荷量は概ね横ばい、好天に恵まれ季節商品などが増加したが全般に物流は低調な荷動きで推移した。復路荷物は相変わらず情報量は少なく荷物の不足傾向は続いており空車運行も見られた。売上高は前月比、前年同月比ともに微増となっているが、燃料価格が値上がりし収益状況に影響を与えている。

西部地区⇒ 猛暑で飲料水の出荷は順調に推移したが、他の製造業においては前月同様、往路復路ともに輸送量は一時大幅に減少した。世界的な半導体の供給不足が自動車や家電など幅広い産業に影響が出始めている。加えて新型コロナ変異株の全国的な蔓延など物流に及ぼす影響は計り知れない。原油価格は相変わらず価格の下げ要因が見当たらない。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・若年層のワクチン接種の加速化を願う。【一般食料品製造業】
- ・国土強靱化事業の推進に期待をしているので、県として国への予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・新型コロナ対策等補助金の要件が売上減少という切り口で判定されており、努力して売上増加を図った結果が対象外では救われない。【商店街】
- ・鳥取中部地震5年目節目の「福高祭」実施に向けて、行政等の助けを期待する。【商店街】
- ・旅館業の現況は危機的な状況にあり、補助金を含めた各種施策の実施が急務。【旅館業】

最近の指標の前月比D I の推移

		2020年												2021年	前年との増減幅
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
売上高	製造業	-26.3	-47.4	5.3	47.4	0.0	-10.5	-47.3	5.2	31.6	-26.3	-31.5	-5.3	10.5	36.8
	非製造業	0.0	-5.2	5.3	0.0	0.0	-10.5	-68.4	5.3	26.3	0.0	-10.5	-5.2	10.5	10.5
	全業種	-13.2	-26.3	5.3	23.7	0.0	-10.5	-57.9	5.3	29.0	-13.1	-21.1	-5.3	10.5	23.7
在庫数量	製造業	-5.2	-10.5	-10.5	-5.3	-5.2	-10.5	5.2	0.0	5.2	10.6	5.3	15.8	10.5	15.7
	非製造業	-33.4	-41.7	0.0	0.0	16.6	0.0	-16.6	8.3	0.0	8.3	0.0	16.7	-8.4	25.0
	全業種	-16.1	-22.6	-6.5	-3.2	-9.7	-6.4	-3.2	3.2	3.2	9.7	3.2	16.1	3.2	19.3
販売価格	製造業	-5.2	0.0	-5.2	-5.2	0.0	0.0	10.5	0.0	26.3	21.1	10.5	15.8	15.8	21.0
	非製造業	-21.0	5.3	-26.3	0.0	0.0	10.6	-21.0	-15.8	-10.5	-10.5	10.5	-10.5	0.0	21.0
	全業種	-13.1	2.6	-15.8	-2.6	0.0	5.3	-5.3	-7.9	7.9	5.3	10.6	2.6	7.9	21.0
取引条件	製造業	-10.5	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.6	10.5	10.5	10.5	5.3	0.0	10.5
	非製造業	-21.1	-5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	-15.8	-10.5	-15.8	-10.5	-5.3	-10.5	-10.5	10.6
	全業種	-15.8	-2.7	2.7	0.0	0.0	0.0	-7.9	-10.5	-2.6	0.0	2.7	-2.7	-5.3	10.5
収益状況	製造業	-21.1	-31.6	-10.5	-15.8	-10.5	-5.2	-42.1	-10.6	10.5	-26.3	-16.8	-31.5	-15.8	5.3
	非製造業	-5.3	-21.0	-21.0	0.0	0.0	-5.3	-68.4	-10.5	0.0	-20.9	-42.1	-21.0	-21.0	-15.7
	全業種	-13.2	-26.3	-15.8	-7.9	-5.2	-5.2	-55.3	-10.5	5.2	-23.7	-28.9	-26.3	-18.4	-5.2
資金繰り	製造業	-10.5	-5.3	10.5	0.0	5.2	0.0	-21.1	-5.3	10.5	10.2	-10.5	0.0	-5.3	5.2
	非製造業	-36.8	-26.3	-31.6	0.0	0.0	-15.8	-36.8	-31.5	-21.1	-15.8	-36.8	-26.3	-10.5	26.3
	全業種	-23.7	-15.8	-10.5	0.0	2.7	-7.9	-28.9	-18.5	-5.3	-5.3	-23.7	-13.1	-7.9	15.8
設備操業度	製造業	-21.0	-15.8	10.6	-5.3	0.0	0.0	-42.1	-42.1	21.0	-5.3	-15.8	-5.3	5.3	26.3
雇用人員	製造業	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	-5.3	5.3	10.5	5.2	-5.2	-5.3	0.0	0.0
	非製造業	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	-5.3	-15.8	-15.8	-15.8	5.2	-10.5	-10.5	-5.3	0.0	10.5
	全業種	-5.3	-5.3	-5.3	-2.7	0.0	-7.9	-10.5	-5.3	7.9	-2.6	-7.9	-5.3	0.0	5.3
景況	製造業	-47.3	-31.6	-26.3	-10.6	-15.8	-15.8	-42.1	-31.6	-10.5	-26.3	-10.6	-15.8	-10.6	36.7
	非製造業	-31.6	-15.8	-31.5	10.5	-10.5	-15.8	-57.9	-31.6	-26.3	-36.8	-47.3	-31.5	-36.8	-5.2
	全業種	-39.5	-23.6	-28.9	0.0	-13.2	-15.8	-50.0	-31.5	-18.4	-31.5	-28.9	-23.6	-23.7	15.8

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2020年												2021年	前年との増減幅
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
売上高	製造業	-84.2	-89.5	-78.9	-52.4	-42.1	-73.6	-73.7	-52.6	-15.8	-10.5	5.2	0.0	0.0	84.2
	非製造業	-73.6	-78.9	-47.4	-5.3	-52.7	-47.4	-52.6	-57.9	-42.1	10.5	10.6	26.3	15.8	89.4
	全業種	-79.0	-84.2	-63.2	-29.0	-47.4	-60.6	-63.2	-55.2	-29.0	0.0	7.9	13.2	7.9	86.9
在庫数量	製造業	-5.3	-10.6	-26.3	-26.3	0.0	-21.1	-15.8	-21.1	-15.8	10.6	10.5	10.5	5.3	10.6
	非製造業	-25.0	-25.0	-16.6	0.0	-16.7	-8.3	-33.4	-33.4	-33.4	-8.3	-16.6	0.0	-16.7	8.3
	全業種	-12.9	-16.1	-22.5	-16.1	-6.4	-16.1	-22.5	-25.8	-22.5	3.3	0.0	6.4	-3.2	9.7
販売価格	製造業	-26.3	-26.3	-21.0	-21.0	-21.0	-21.0	-15.8	-15.8	0.0	10.5	5.2	21.0	21.0	47.3
	非製造業	-26.3	-5.3	-5.3	0.0	-10.6	-5.3	-5.3	-10.5	-26.3	-15.8	-15.8	-5.3	-5.3	21.0
	全業種	-26.3	-15.8	-13.2	-10.6	-15.8	-13.2	-10.6	-13.2	-13.1	-2.6	-5.3	7.9	7.9	34.2
取引条件	製造業	-21.1	-15.8	0.0	-5.3	-5.3	-5.3	0.0	-5.3	0.0	10.5	10.5	10.5	10.5	31.6
	非製造業	-31.6	-26.3	-26.3	-21.1	-5.2	-15.8	-10.5	-21.1	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	26.4
	全業種	-26.3	-21.1	-13.2	-13.2	-5.3	-10.5	-5.3	-13.2	-10.5	0.0	0.0	0.0	2.6	28.9
収益状況	製造業	-78.9	-78.9	-73.6	-63.2	-52.7	-57.9	-63.1	-52.6	-15.8	-15.8	-5.2	-10.5	-21.0	57.9
	非製造業	-78.9	-84.2	-52.7	-47.4	-36.8	-42.1	-63.1	-73.7	-31.5	-10.5	-5.2	-5.2	-10.5	68.4
	全業種	-78.9	-81.6	-63.2	-55.3	-44.7	-50.0	-63.1	-63.2	-23.7	-13.1	-5.3	-7.9	-15.8	63.1
資金繰り	製造業	-52.6	-47.4	-31.6	-36.8	-21.1	-26.3	-31.6	-36.8	-15.8	-15.8	-26.3	-15.8	-21.1	31.5
	非製造業	-63.2	-68.4	-52.6	-36.9	-26.3	-42.1	-57.9	-57.9	-42.1	-10.5	-31.5	-36.8	-26.3	36.9
	全業種	-57.9	-57.9	-42.1	-36.8	-23.7	-34.2	-44.7	-47.4	-28.9	-13.1	-2.9	-26.3	-23.6	34.3
設備操業度	製造業	-57.9	-57.9	-42.1	-42.1	-52.6	-42.1	-52.6	-52.6	-21.0	-10.5	-15.8	-10.5	-10.6	47.3
雇用人員	製造業	-26.3	-15.8	-26.3	-21.1	-15.8	-15.8	-15.8	-10.5	0.0	-5.3	10.5	-10.5	-5.2	21.1
	非製造業	-36.8	-36.8	-26.3	-15.8	-26.3	-31.6	-31.6	-31.6	-21.0	-10.6	5.2	-10.5	-15.8	21.0
	全業種	-31.6	-26.3	-26.3	-18.4	-21.1	-23.7	-23.7	-21.1	-10.5	-7.9	-7.9	-10.6	-10.6	21.0
景況	製造業	-84.2	-84.2	-73.7	-63.2	-57.9	-73.7	-73.7	-52.6	-26.3	-21.0	-10.5	-5.2	-15.8	68.4
	非製造業	-78.9	-84.2	-73.7	-47.4	-36.8	-52.6	-52.6	-68.4	-47.4	-31.5	-15.8	-26.3	-26.3	52.6
	全業種	-81.6	-84.2	-73.7	-55.2	-47.4	-63.2	-63.2	-60.6	-36.8	-26.3	-13.1	-15.8	-21.0	60.6

情報連絡員報告総括表(令和3年7月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回 答 数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況				
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化					
製 造 業	食料品	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0				
	繊維工業	0	2	1	1	2	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	2	1				
	木材・木製品	2	2	0	0	4	0	1	3	0	0	1	3	0	4	0	1	3	0	1	3	0	0	4	0				
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				
	出版・印刷	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1				
	化学ゴム																												
	窯業・土石製品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				
	鉄鋼・金属	1	1	0	0	2	0	2	0	0	0	1	0	1	0	2	0	2	0	0	2	0	1	0	1				
	一般機器	2	0	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	2	1	0	3	0	3	0	0	2	1	1	1				
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				
輸送用機器																													
その他																													
非 製 造 業	19	5	11	3	2	17	0	3	16	0	0	19	0	2	12	5	0	18	1	3	14	2	1	17	1	2	13	4	
	100%	26.3%	57.9%	15.8%	10.5%	89.5%	0.0%	15.8%	84.2%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	10.5%	63.2%	26.3%	0.0%	94.7%	5.3%	15.8%	73.7%	10.5%	5.3%	89.5%	5.3%	10.5%	68.4%	21.1%	
	卸売業	1	3	2	0	5	1	1	5	0	0	6	0	4	2	0	6	0					0	6	0	0	4	2	
	小売業	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0					0	1	0	0	1	0	
	商店街	1	0	3	1	2	1	0	3	1	0	2	2	0	4	0	1	3					0	3	1	0	0	4	
	サービス業	3	1	1				1	3	1	0	5	0	2	2	1	1	4	0				1	4	0	1	2	2	
	建設業	1	0	0				0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1					0	1	0	0	1	0	
	運輸業	2	0	0				0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2					0	2	0	0	2	0	
	その他																												
	19	8	5	6	1	8	2	2	15	2	0	17	2	3	9	7	1	15	3				1	17	1	1	10	8	
100%	42.1%	26.3%	31.6%	8.3%	66.7%	16.7%	10.5%	78.9%	10.5%	0.0%	89.5%	10.5%	15.8%	47.4%	36.8%	5.3%	78.9%	15.8%				5.3%	89.5%	5.3%	5.3%	52.6%	42.1%		
38	13	16	9	3	25	2	5	31	2	0	36	2	5	21	12	1	33	4	3	14	2	2	34	2	3	23	12		
100%	34.2%	42.1%	23.7%	9.7%	80.6%	6.5%	13.2%	81.6%	5.3%	0.0%	94.7%	5.3%	13.2%	55.3%	31.6%	2.6%	86.8%	10.5%	15.8%	73.7%	10.5%	5.3%	89.5%	5.3%	7.9%	60.5%	31.6%		

情報連絡員報告総括表(令和3年7月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-2 業界の景気動向(前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
食料品	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	1	1
繊維工業	0	1	2	1	1	1	0	2	1	0	3	0	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	2	1	0	1	2
木材・木製品	2	2	0	0	4	0	2	2	0	1	3	0	1	3	0	0	4	0	1	3	0	1	3	0	1	3	0
紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
出版・印刷	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1
化学ゴム																											
窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0
鉄鋼・金属	0	1	1	1	1	0	1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1	1	1	0	0	2	0	0	1	1
一般機器	2	0	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	2	0	1	0	3	0	0	3	0	0	2	1	2	0	1
電気機器	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
輸送用機器																											
その他																											
19	5	9	5	3	14	2	5	13	1	2	17	0	4	7	8	0	15	4	2	13	4	1	16	2	3	10	6
100%	26.3%	47.4%	26.3%	15.8%	73.7%	10.5%	26.3%	68.4%	5.3%	10.5%	89.5%	0.0%	21.1%	36.8%	42.1%	0.0%	78.9%	21.1%	10.5%	68.4%	21.1%	5.3%	84.2%	10.5%	15.8%	52.6%	31.6%
卸売業	2	2	2	0	5	1	1	4	1	0	5	1	1	4	1	1	5	0				0	6	0	1	3	2
小売業	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
商店街	0	1	3	1	1	2	0	2	2	0	3	1	0	1	3	0	0	4				0	1	3	0	0	4
サービス業	3	2	0				1	3	1	1	4	0	1	4	0	1	2	2				0	5	0	1	3	1
建設業	1	0	0				1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1				0	1	0	0	0	1
運輸業	2	0	0				0	2	0	0	2	0	1	1	0	2	0	0				0	2	0	1	1	0
その他																											
19	8	6	5	1	7	3	3	12	4	1	16	2	3	11	5	2	10	7				0	16	3	3	8	8
100%	42.1%	31.6%	26.3%	8.3%	58.3%	25.0%	15.8%	63.2%	21.1%	5.3%	84.2%	10.5%	15.8%	57.9%	26.3%	10.5%	52.6%	36.8%				0.0%	84.2%	15.8%	15.8%	42.1%	42.1%
38	13	15	10	4	21	5	8	25	5	3	33	2	7	18	13	2	25	11	2	13	4	1	32	5	6	18	14
100%	34.2%	39.5%	26.3%	12.9%	67.7%	16.1%	21.1%	65.8%	13.2%	7.9%	86.8%	5.3%	18.4%	47.4%	34.2%	5.3%	65.8%	28.9%	10.5%	68.4%	21.1%	2.6%	84.2%	13.2%	15.8%	47.4%	36.8%